

# 出張報告書

平成28年7月29日

市議会議長 岸田 厚 様

会 派 名 改革クラブ

代表者氏名 井舎 英生

下記のとおり報告します。

## 記

- 1 目 的 研修会（主催：株式会社地域科学研究会）  
バス交通の将来像
- 2 出 張 先 東京・千代田区
- 3 出張期間 平成28年7月28日
- 4 出張者氏名 井舎英生
- 5 てん末報告 別紙-1の通り

## 別紙-1

訪問先 剛堂会館（東京・千代田区）

目的 研修会（バス交通の将来像－20年後の交通政策／これからの運賃制度）

研修結果

人口急減・超高齢化時代の「地域公共交通」をどう設計するのか？

また、実効性・継続性のある地域公共交通網計画について研修を受講した。

研修内容は以下の通りである。

- ① 地域公共交通網計画の形成と自治体によるバス政策の方向性  
～英国の事例をふまえた検証～
  1. 英国のバス政策にみる自治体と事業者のパートナーシップ
  2. 地域交通計画とPDCAサイクル確保の必要
  3. 計画づくりは幹線から
  4. デマンド交通はサービス維持の切り札か
  5. 運賃は安ければいいわけでない
  6. 市町村広域連携の壁を乗り越えるには
  
- ② 地方の中核都市における将来の交通に関する研究  
～人口50万人以下の県庁所在地における2035年頃のバス交通の姿についての考察～
  1. 地域住民の最終的な足としての乗合バス
  2. 地方の中核都市も厳しい現実
  3. 公共交通に関する興味ある事例
  4. 提言「減少する限りある資源を有効活用して、できる限り市民のQOLを挙げるために」～「まち」とともに「交通」の「スマートシュリンク」～
  
- ③ 敬老乗車制度はだれのためのものか
  1. 敬老乗車制度の導入の経緯、見直しの経緯
  2. 敬老乗車制度の受益者はだれかーサービスの外部性の存在ー
  3. 高齢者のバス利用の特性ー価格に敏感ー
  4. 誰がバスの運行費用を負担するのか
  5. 望ましい運賃制度の設計
  
- ④ 地域公共交通活性化・再生の取組みと今後の展望  
～八戸市の地域公共交通マネジメント～
  1. 「競合」から「共生」に向けたバス事業者との連携
  2. 路線バス上限運賃政策の実施
  3. 八戸公共交通アテンダント「はちこ」のおもてなし
  4. 日帰り路線バスパックによるお出かけ機会の創出

井舎所感：

今回の研修は、本市（岸和田市）の地域公共交通の将来展望に資する内容であった。

以上